

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。 						
日程と内容	9/18 第1回：講義概要＋文法4 1回目 9/25 第2回：文法4 2回目 10/2 第3回：語彙・言葉の意味1 1回目 10/9 第4回：語彙・言葉の意味1 2回目 10/16 第5回：語彙・言葉の意味2 1回目 10/23 第6回：語彙・言葉の意味2 2回目 10/30 第7回：語彙・言葉の意味3 1回目 11/6 第8回：語彙・言葉の意味3 2回目 11/13 第9回：語彙・言葉の意味4 1回目 11/20 第10回：語彙・言葉の意味4 2回目 11/27 第11回：漢字・表記1 1回目 12/4 第12回：漢字・表記1 2回目 12/11 第13回：漢字・表記2 1回目 12/18 第14回：漢字・表記2 2回目 1/15 第15回：定期試験 1/22 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	大学生生活、そして社会人としての生活の上で必要となる、基本的な言葉の知識を多くの学生が理解し習得することができたと思われまふ。特に間違えやすい漢字や表記について、それがなぜ誤りであるのかという基礎となる考え方を理解できたと考えています。						
反省点	受講生が多いこともあり、学習が遅れている学生への対応が不十分であったと思ひます。また、全体の雰囲気はやや乱れることがありました。						
来年度の計画	学力が高くない学生や欠席が多い学生を小テストなどで早く認識し、適切に対応するようにしたいと思ひます。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容に興味を持ったという学生が少なかったようであるので、話の内容を広げ、学生の興味関心を刺激するような授業にしていきたいと思ひます。						
履修登録者数	129名	定期試験 受験者数	103名	合格者数	100名	合格率	97%